

# と・お・のいきいき参画

ともに育もう おもいやりと のうりよくが 活きるまち

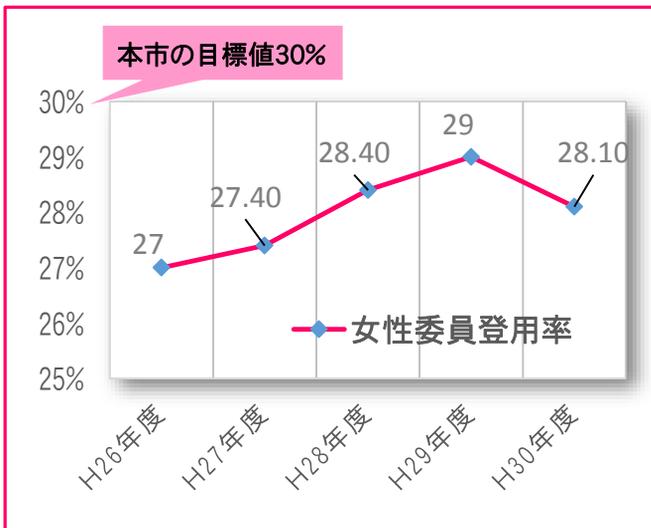
遠野市では、男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって様々な活動に参画する機会が確保され、共に責任を担う男女共同参画社会の実現に取り組んでいます。男性であること、女性であることにとらわれず、個性と能力を十分に発揮できる社会づくりに、皆様のご理解とご協力をお願いします。

## 数字から読み解く様々な参画意識

### 1 遠野市の女性活躍の現状

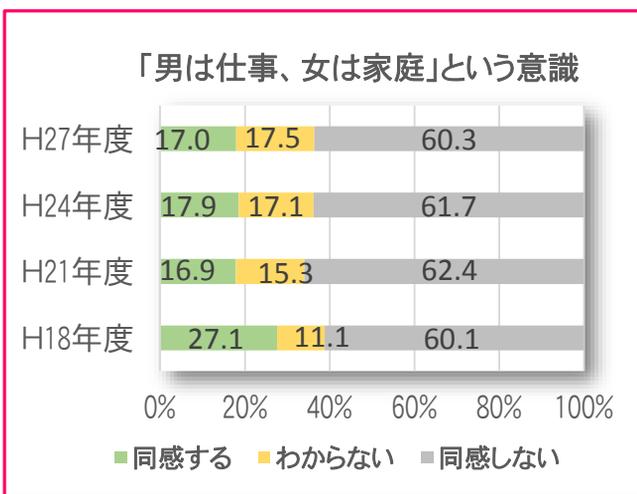
本市の法令・条例で設置されている各種審議会女性委員登用率(右図)を読み解くと、女性委員の人数は平成29年度までは増加傾向にあったものの、平成30年度は28.10%に減少。これは、男性を含めた総委員数の増加が影響したものと考えられます。

本市では、平成32年度までに「女性委員登用率」が30%を達成することを目標にしています。目標達成まであと少し!引き続き、女性が参画することの効果や意義を呼びかけ、目標達成に向けて取り組んでいきます。



「地方公共団体に関する男女共同参画調査」より

### 2 固定的性別役割分担意識「男は仕事、女は家庭」



男女共同参画社会の実現に向けた大きな障害の一つになっている固定的性別役割分担意識。岩手県が実施した調査(左図)によると、「男は仕事、女は家庭」という考え方に対して、平成18年度は27.1%が同感すると回答していましたが、平成27年度は17.0%に。徐々に固定的な意識が変わりつつあります。共働き世帯が増加する中、性別で役割を固定的に考えるのではなく、仕事や家事、育児など今まで以上に男性と女性が協力し合うことが大切になっていきます。

「平成27年度男女が共に支える社会に関する意識調査(岩手県)」より

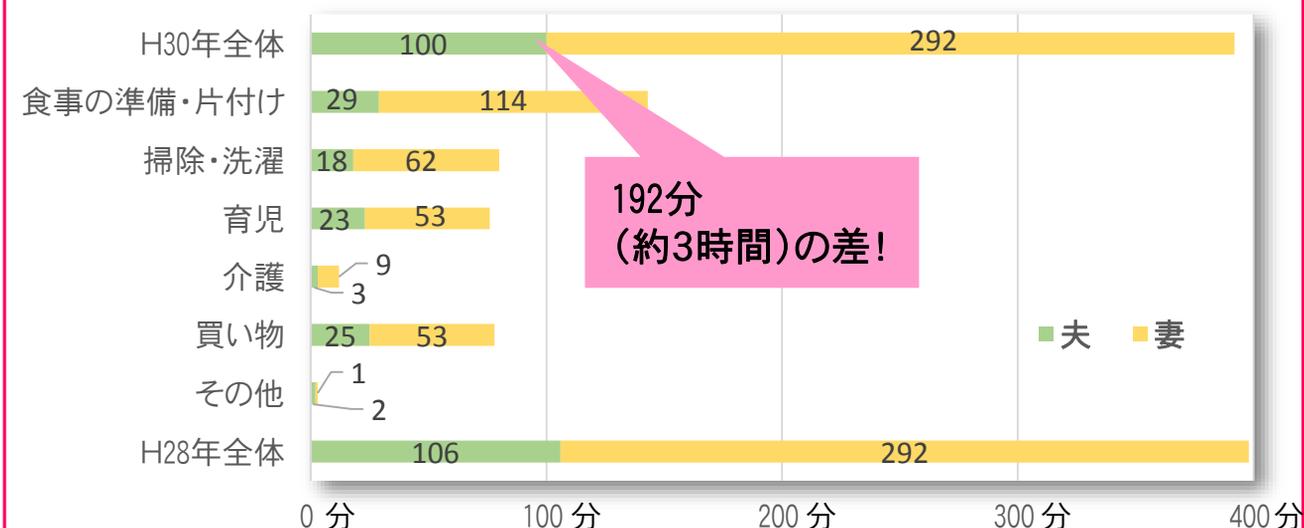
### 3 共働き夫婦の1日の家事労働時間

女性が職場や地域で活躍しようとするとき大切なのは、家庭や周囲の人たちの支えです。

岩手県が実施した調査(下図)によると、共働き世帯の「夫」の家事労働時間(H30年全体)は100分で、「妻」は夫の約3倍の292分。その差はなんと約3時間にも及びます。1日の家事労働時間の内訳から見てもすべてにおいて、女性が男性を上回っていることが分かります。

男女が共に仕事と家事、育児などを両立するためには、男性の積極的な家庭進出がカギになります。

共働き夫婦の1日の家事労働時間



「平成30年岩手県民生活基本調査」より

### ★「仕事と生活の調和」(ワーク・ライフ・バランス)を

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)とは、「一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」を指します。

「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」より

#### ★バランスの取れた働き方を実現することにより・・・

- ☆健康で豊かな生活をおくることができる
- ☆個人の時間が持てることで自己啓発、能力向上につながる
- ☆家事・育児・介護などの希望を実現できる
- ☆地域活動への参加増加により地域社会が活性化する
- ☆多様な働き方が認められることにより、経済的自立が可能となる

気持ちよく働くこと、生きがいを持ち豊かに生きることのために、働き方について考えてみましょう。

